

5. 歯周病と歯周組織検査



5. 歯周病と歯周組織検査

<到達目標>

- ・ 歯科医師の指示に従うことができる
- ・ ステップ毎に報告できる
- ・ 必要器材を的確に準備できる
- ・ 器具を正しく把持できる
- ・ 口腔内を正確に精査できる
- ・ 的確に歯垢を染色できる
- ・ 正確にプロービングできる
- ・ 正しいプロービング圧で計測できる

<設定場面>

40代女性が、下顎右側臼歯部の歯の動揺（右下6の頬側遠心隅角に8mmの歯周ポケットが存在する）と歯肉の腫脹と口臭を主訴に来院した。同部の精査と加療を希望している。

<治療手順>

1. 器材の準備と患者への説明 必要器材：基本セット（デンタルミラー、ピンセット、探針）

歯科医師：衛生士に歯周病診査を指示する。

衛生士：患者に歯周病診査を始める旨を説明する。

患者：診療内容について質問する。

2. 歯の修復・補綴状態・欠損に対する補綴物の種類の診査 必要器材：
歯周チャート

衛生士：歯の状態を言葉で表現し、アシスタントに伝える。

助手：術者の言葉をメモに記載する。

衛生士：アシスタントの筆記した内容を改めてカルテに記載し直す。

3. 歯の位置の異常の有無の診査

衛生士：歯の状態を言葉で表現し、アシスタントに伝える。

助手：術者の言葉をメモに記載する。

衛生士：アシスタントの筆記した内容を改めてカルテに記載し直す。

4. 歯頸部知覚過敏・くさび状欠損の有無の診査

衛生士：歯の状態を言葉で表現し、アシスタントに伝える。

助手：術者の言葉をメモに記載する。

衛生士：アシスタントの筆記した内容を改めてカルテに記載し直す。

5. 歯肉の幅の計測・小帯の付着部の確認・歯肉歯槽粘膜の変化の観察

衛生士：遊離歯肉・付着歯肉の幅を計測し、チャートに記録すると同時に膿瘍・瘻孔の有無なども観察する。

6. 歯周ポケットの測定 必要器材：ポケットプローブ

衛生士：ポケットプローブでポケットの深さを記録する（最も深い部分を計測する1点法、近遠心頬舌側の4点法、さらにもう2点加えた6点法などがある）。エックス線フィルムを参考にしながら計測すると計測誤差を少なくできる。

衛生士：プロービングによる出血も確認しておく。

7. 歯の弛緩・動揺の診査

衛生士：歯をピンセットで把持し、揺らして動揺度を確認する。

8. 歯肉からの出血・排膿の診査 必要器材：洗浄用シリンジ、洗浄針、生食

衛生士：指で歯肉辺縁を押し、出血排膿の有無を確認する。

衛生士：ポケットを洗浄する。

9. 歯垢染め出しによる歯垢・歯石の付着状態の診査 必要器材：歯垢染

色剤

衛生士：歯垢染色剤を患者の口に含ませるか舌下部に数滴滴下し、唾液とよく混ぜて口腔内全体に行き渡るように説明する。

衛生士：洗口を指示する。

衛生士：プラークチャートを記録する。

1 1. 患者への説明

歯科医師：エックス線フィルム・スタディモデル・歯周病診査表を見ながら、患者に治療計画の概要を説明する。詳細な治療計画は別の機会に改めて審査内容を検討して患者に説明する。

患者：質問する。

1 2. 片付け

助手：器具の片付けをする。

5. 歯周病と歯周組織検査

必要器材

①基本セット（デンタルミラー、ピンセット、探針） ②歯周チャート ③ポ
ケットプローブ ④洗浄用シリンジ ⑤洗浄針 ⑥生食 ⑦歯垢染色材

5. 歯周病と歯周組織検査

